

介護ネットみやぎ速報

(第22号 2011. 2. 16)

発行者 NPO法人 介護ネットみやぎ

責任者 入間田 範子

022-276-5202

022-276-5205



2010年度私たちがめざす介護保険とするための宮城県緊急会議(緊急会議)が開催されました！！

- ☆ 2012年度に見直される介護保険制度。制度発足以来10年経過したなかで、介護保険を利用する人も介護事業を運営する事業者にとっても多くの問題を残しつつ、見直しがされようとしています。
- ☆ 国は昨年12月に介護保険制度の見直し案を取りまとめましたが、その内容からは明確な方針が伺えず、主要課題はいわゆる両論併記としてまとめられました。加えて介護報酬にいたっては、社会保障と税制問題の混迷から、先送りの事態となっています。
- ☆ このような状況から、私たちがめざす介護保険とするための宮城県緊急会議は、参加いただいた皆様の所属団体における、介護保険制度の見直しに対する取組みの報告交流や意見交換を行い、緊急会議としての今後の取組みについて確認しました。後掲の開催報告をご覧ください。

NPO 介護ネットみやぎ事務局 寺岡
☎022-276-5202 Fax022-276-5205
Email sn.mkaigonet4@todock.jp

報告書

2010年度私たちがめざす介護保険とするための宮城県緊急会議(以下緊急会議)開催報告

2月10日(木) フォレスト仙台2階第2会議室において、「緊急会議」を開催しました。

大川昭雄 NPO 法人介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会代表、高橋治仙台市老人福祉施設協議会会長、樋口晟子 NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長のよびかけによるものです。

介護かかわる宮城県内の団体の長あての「緊急会議」の参加の案内により27人の参加がありました。

参加くださった方は、NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ、NPO 法人みやぎ宅老連絡会、NPO 法人宮城県認知症グループホーム協議会、宮城県社会保障推進協議、NPO 法人介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会、仙台市老人福祉施設協議会宮城県労働福祉協議会、宮城県保険医協会の団体のみなさまです。

2012年に予定されている介護保険制度の見直しに向けて、昨年11月30日付で社会保障審議会介護保険部会において「介護保険制度の見直しに関する意見」（以下「意見」）がまとめられました。

「意見」は、10年を経過した介護保険が多くの問題を抱えながら現在まで運営されてきたことを浮き彫りにしました。多くは「両論併記」となっており、2012年の介護保険改定が、利用者がよりいっそう安心してサービスが受けらようになるとは言い難く不安の残るものとなっています。

「私たちがめざす介護保険とする」ことを実現するために、「緊急会議」を開催し、各団体ならびに法人における介護保険制度改定に向けた取組みの紹介と交流、地域包括ケアについて、今後の展望も含めどのように考えるかの意見交換をおこない、「緊急会議」としての今後の取組みについて協議しました。

各団体から、介護保険をよりよくするために、国、宮城県・仙台市、宮城県議会・仙台市議会など各方面に活発な働きかけを行なっていることが報告されました。また、国が推進する地域包括ケア構想については、実現されれば理想的ではあるが、国や自治体がどのように係わるのか、すべての地域に受け皿があるのか、核になる地域包括支援センターの業務が多岐にわたり疲弊している現実などが話されました。高橋治仙台市老人福祉施設協議会会長は「地域包括ケア構想が利用者本位の制度にするために検証が必要だ。」と危惧されていました。

今後「緊急会議」として「介護報酬引き上げについて」「介護職員の人材確保の推進について」「介護保険財源の国の負担割合の引き上げについて」「地域包括ケア構想の推進の方向性について」「介護保険の利用者負担について」要望書をまとめ各方面に働きかけることが確認されました。また、国の状況を見ながら、逐次「緊急会議」を開催することといたしました。

以上